

2009年8月3日(月)

第180号
特別号

週刊新藤

前衆議院議員
しんどう
義孝 よしたか

今号は、前衆議院議員・新藤義孝さんを
(埼玉県第2選挙区 川口市・鳩ヶ谷市)

マンガで紹介する特集号です。

平和への想い



母方の祖父は、硫黄島最高司令官で陸軍大将の栗林忠道です。クリント・イーストウッド監督の「硫黄島からの手紙」は、硫黄島から愛娘(新藤さんの母)に送った手紙を題材に描かれました。軍の中枢部にいながら戦争の早期解決を主張し、本土決戦を硫黄島でくい止めたいと願いながら散った祖父。そのDNAを受け継ぎ、外交や安全保障、世界平和が政治活動の核になっています。

家庭派



川口市に代々続く旧家の長男として生まれました。母親は他界しておりますが、父と同居。妻・長男(27才)・次男(2才)・長女(5ヶ月)と子育ての真っ最中でもあります。仕事をしているか、子育てるか、毎日何をするかの毎日です。本人は話しています。親や妻子を大切に、子供のうな家庭人です。

「週刊新藤」で

市民の皆様に直接政治の想いを伝えたいと「週刊新藤」というミニ新聞をつくり、お家のポストに配っています。これは発刊して5年書き続けて第180号になりました。配って下さっているのはボランティアの皆様。ボランティアに支えられ、こういう新聞をずっと発行できている国会議員は、新藤さんだけです。(FAXやメール版も用意しております。お申し込みは新藤義孝後援会事務所へ)



スポーツ振興を

新藤さんは、埼玉県のキッズサッカーリーグ・セーリング・エアロビック各連盟の会長です。川口市でも、ラグビー協会の会長を始め、たくさんの団体を応援しています。スポーツの振興を重要な国家戦略ととらえ、スポーツ基本法を制定し、スポーツ庁・スポーツ担当大臣をつくるなど、国会で運動しています。

元サッカー少年
(埼玉県キッズ連盟会長)

熱い
ハート

しんどうひやう

新解 藤体

政策派

政治家の仕事は法律をつくること。どう国を良くするか、何を策提言力が決め手です。発想、着眼点、情熱、具現化力。新藤さんは、人一倍勉強熱心に法律と向き合い、数々の政策を立案した国会きっての政策派です。

新藤さんのHPは何と6百ページにおよび、今までの政策や活動をご覧いただけます。ぜひ、アクセスしてみてください。

<http://www.shindo.gr.jp/>

教育改革派

全国会議員中、ただ一人の現職幼稚園長です。国会では幼児教育の無償化に向けて動いています。小中学校は公立がありますが、幼稚園は9割が私立です。親の収入が少ない時期に、もっともお金がかかるのです。子育て支援の充実など、こども達の未来を応援します。

現場主義

いつも現場に飛んで実際を見る。そして日本として何が出来るか、何をすべきかを考え実行する。これが新藤さんの基本です。コソボ紛争の時は自費で現地に飛び、もっと「日本の顔の見える国際貢献」と訴えました。その後も、東ティモール・アフガニスタン・イラクなど、紛争解決のために国家の特命を受けて世界中を飛び回り、現場主義を貫いています。

街の中で

自転車での地域みまもり隊、拉致問題の署名、西川口クリーン作戦、障害者ダンスの会、ドッグランの会、ペットの里親の会…様々な活動や応援を街の中で行っています。



軽快な
フットワーク

